

食と健康の課題解決への貢献

アプローチ

味の素グループは創業より、うま味を活かした栄養豊富でおいしい食を普及させ人々を健康にしたいという創業者の志を継ぎ、その思いを世界へと広げてきました。現代社会における食・栄養の課題やニーズは多様化・複雑化していますが、味の素グループは事業を通じて栄養へのインパクトを最大化することを目指しています。その実現のために、アミノ酸に関する知見を活用して栄養バランスの良いメニューを奨励し、世界中の人々の健康増進と食習慣の改善に寄与します。

具体例

- ・ 不足栄養・過剰栄養の改善 (顧客の便益)
- ・ 乳幼児、若年女性、高齢者栄養
- ・ 健康なこころ
- ・ 再生医療
- ・ 予防医療

関連する機会とリスク(○機会/●リスク)

- 生活者の健康意識、健康ニーズの高まり
- ブランドへの信頼獲得
- 健康・栄養分野における競争激化・劣後リスク
- 健康・栄養課題の深刻化による食習慣の見直し
- 企業価値の向上
- 健康・栄養関連の規制強化(砂糖税等)

味の素グループの主要な取り組み

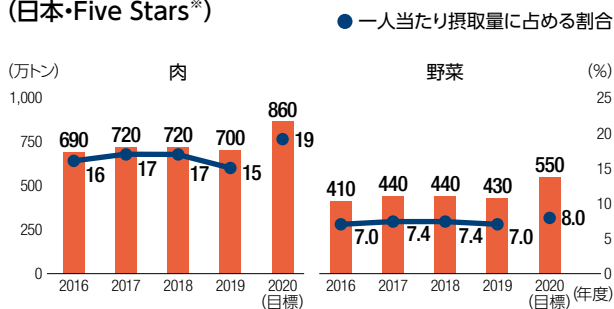
- ・ おいしく摂取し、心身のすこやかさにつながる食品・アミノ酸製品およびメニューの提供
- ・ うま味によるおいしい減塩
- ・ 減糖、減脂
- ・ たんぱく質摂取の推進
- ・ 「アミノインデックス技術」による予防医療への貢献
- ・ 栄養プロファイリングシステムの導入
- ・ 生活者一人ひとりへの栄養改善の個別提案(パーソナル栄養)

貢献するSDGsのゴール



17-19中計KPI

味の素グループ製品による肉・野菜の摂取量 (日本・Five Stars※)



※ タイ、ブラジル、インドネシア、ベトナム、フィリピン

アミノ酸製品(アミノサイエンス)を通じた快適な生活への貢献人数

